

慶應義塾大学 文学部

西洋史学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

西洋史学専攻では、西洋世界およびそこから強く影響を受けた地域の過去を学ぶことを通して、現代の「国際社会」の多くの側面を構成する「価値観」を理解するために十分な知識を獲得し、ひいては歴史学を通して現代社会の深層を見つめる知見と能力を得ることを到達目標としてカリキュラムを編成している。学則に定める単位を修得し卒業試験に合格した者は、上記の目標を達成したとみなし、学士（史学）の学位を授与する。

学修の最終成果である卒業論文（卒業試験）は次の審査項目を満たすものとする。

1. テーマ・問題意識が明確である。
2. 先行研究を踏まえている。
3. 方法が目的に適っている。
4. 内容が論理的で一貫している。
5. 形式が学術論文として適切である。